



# 温暖化から 日本を守る 適応への 挑戦 2012



気候変動に関する政府間パネル (IPCC) は、2007年に発表した報告書 (第4次評価報告書=AR4) で「温暖化には疑う余地がない」と断定しました。大気や海洋の世界平均温度の上昇、北極の氷及び山岳氷河などの広範囲にわたる減少、世界平均海面水位の上昇等が観測され、今や地球が温暖化していることは明らかだとしています。温暖化に対して私達がとるべき主な対応策は「緩和(温室効果ガス排出の削減)」と「適応(影響に対応した人間社会の調整)」です。このパンフレットでは、このうち、特に「適応」について、その考え方やわが国の取組を中心に、具体的な計画・事例などを紹介しています。



## contents

- 第1章 地球の現状と予測される将来
- 第2章 日本の現状と予測される将来
- 第3章 進む、わが国の適応
- 第4章 国際的な取組
- 第5章 基礎的な科学的知見蓄積への取組
- 第6章 緩和と適応が融合した社会の実現